

ドライブレコーダー 取付説明書




共通編

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
本書はドライブレコーダーの取付方法「共通編」について記載しています。
取り付け前に、本書と別冊の「車種別編」を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取り付けられたものについては、取付作業者の責任となります。取り付け後は本書および「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読みください。

 警告	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながる恐れがある内容です。
 注意	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながる恐れがある内容です。
注記	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながる恐れがある内容です。
 アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適用車種および適用年式

品番	適用車種		適用年式
99000-79BC0 (DRV517S)	ジムニー / ジムニーシエラ エブリイ SX4 S-CROSS ラパン ハスラー ソリオ エスクード イグニス パレーノ スイフト	JB23W / JB43W DA17V、DA17W YA22S、YB22S HE33S MR31S、MR41S MA26S、MA36S、MA46S YD21S、YE21S、YEA1S FF21S WB32S、WB42S ZC13S、ZC-ZD53S、ZC-ZD83S ZC43S、ZC33S MH35S、MH55S SC27、SGC27、SGNC27	2017年7月～
	スペースア クロスビー	MK53S MN71S	2017年12月～
	キャリ / スーパーキャリイ	DA16T	2018年7月～

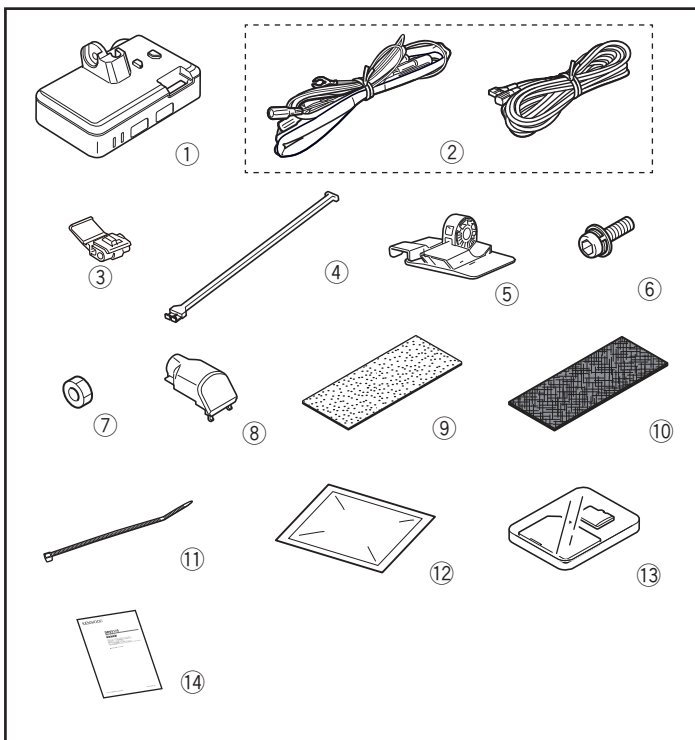
※ キャリイ / スーパーキャリイに取り付ける場合、別途、コードレールセット (99000-79AW4) が必要です。

 アドバイス

- 動作確認のため microSD カード (8GB、16GB、32GB のいずれか) をご用意ください。
- 同梱の microSD カードを使用して動作確認をしないでください。同梱の microSD カードを使用すると、車両引き渡し前に撮影された映像が microSD 内に保存されてお客様の元へ渡ります。

構成部品

■ ドライブレコーダー (99000-79BC0)



図中 番号	品名	数量
①	ドライブレコーダー	1
②	電源ケーブル	2
③	中継コネクタ	2
④	ケーブルガイド	1
⑤	マウントブラケットアッセンブリー	1
⑥	ネジ (M4×12mm)	1
⑦	六角ナット (M4)	1
⑧	ケーブルホルダー	1
⑨	クッションテープ (200mm×100m)	2
⑩	保護シート (200mm×100m)	2
⑪	束線バンド (200mm)	16
⑫	クリーナー	1
⑬	microSD カード (8GB)、アダプター	1
⑭	取扱説明書	1

使用工具

プラスドライバー (長)



プラスドライバー (短)



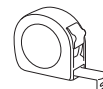
ショートスタッピ



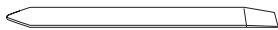
トルクスドライバー



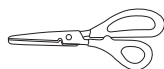
メジャー



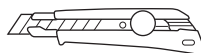
リムーバー



ハサミ



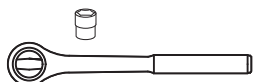
カッターナイフ



めがねレンチ (10mm)



トルクレンチ



プライヤー



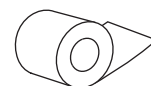
絶縁テープ



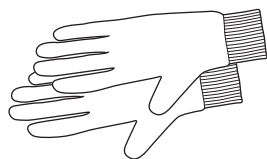
ビニールテープ



養生テープ



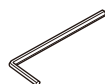
ケブラー手袋



丸ヤスリ



六角レンチ (3mm)



※ トルクスドライバーは、ランディに取り付ける際、必要となります。

取付上の注意事項

安全上のご注意

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



注意 (しなければならぬ)の内容です。



禁止 (してはいけない)の内容です。



実行 (かならず行っていただく)の内容です。

警告



エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバックが誤動作し、死亡事故の原因となります。

エアバック用ワイヤーハーネスに損傷を与えない
エアバックの動作不良の原因となります。

取り付けやアース配線に車の保安部品(ステアリング、ブレーキ、タンクなど)のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。



説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

車両部品の脱着時や配線作業時には、ケブラー手袋を装着して作業をする
シャープエッジ部などでケガをするおそれがあります。



SRSエアバッグ装着車に取り付ける際に注意する
車両復元後、SRSエアバッグ警告灯に異常がないか確認してください。

注意



コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注記

- 車両部品の取り外しおよび取り付けは、サービスマニュアルを参照して行ってください。

アドバイス

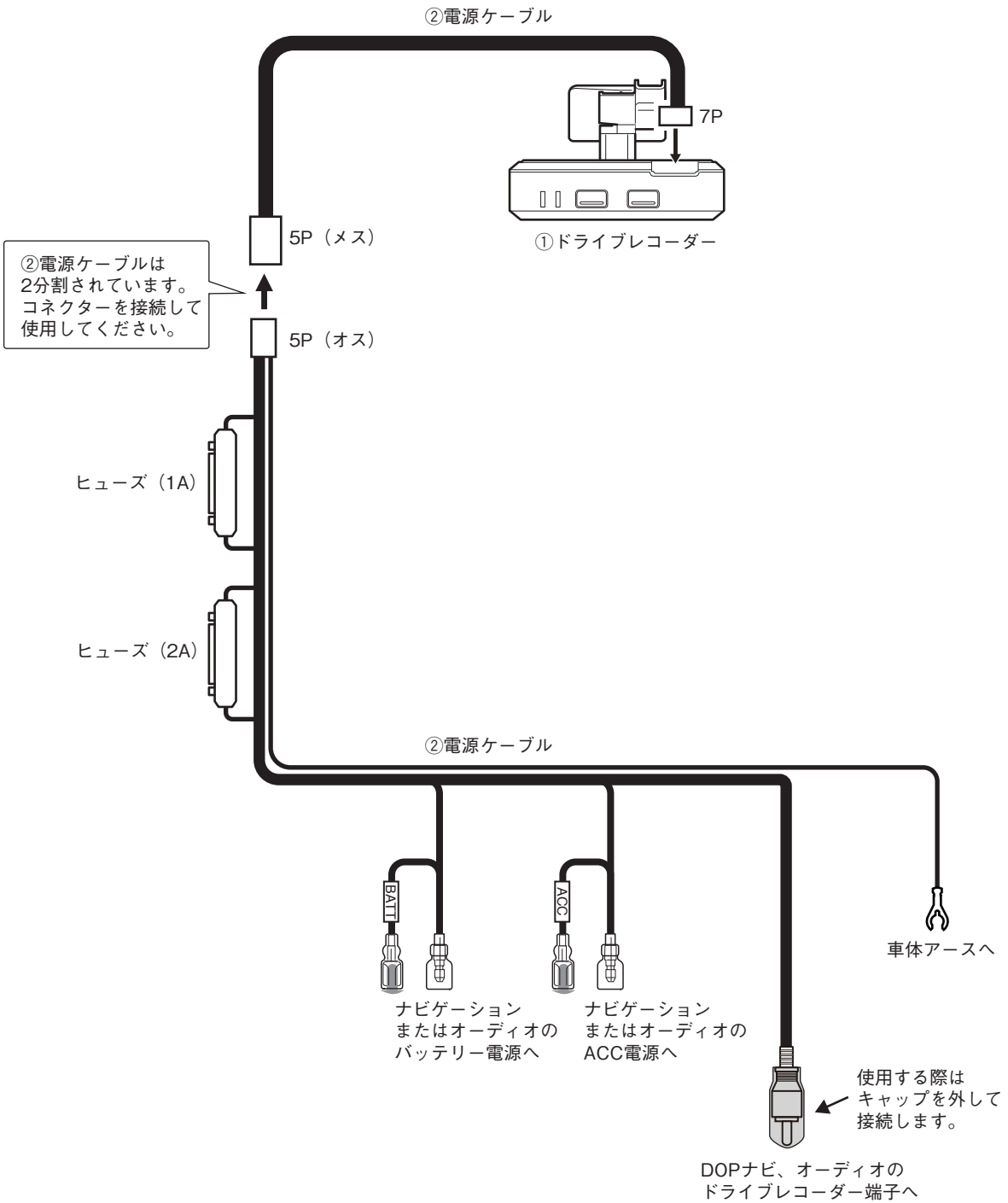
- 車両より取り外したネジ類は、部品別に整理して、なくさないように十分注意してください。

取付け準備作業

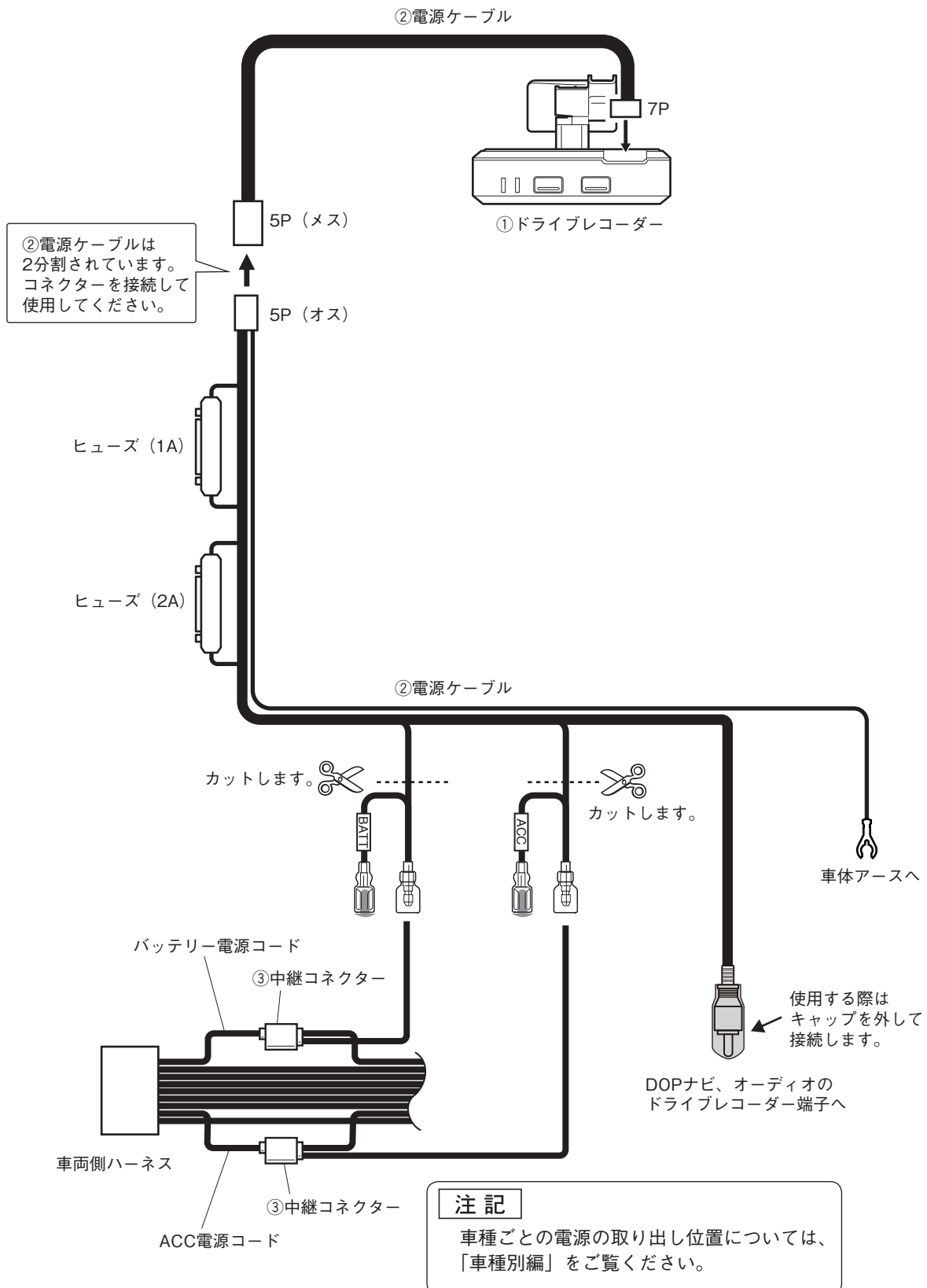
1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させパーキングブレーキを確実に操作してください。
2. 取付け作業中の車は、エンジンを停止しエンジンキーを取り外してください。
※キーレススタートシステム付車およびプッシュスタートシステム付車についてはリモコンを車外で保管してください。
3. 構成部品および部品点数が取付説明書どおりになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認してください。

結線図

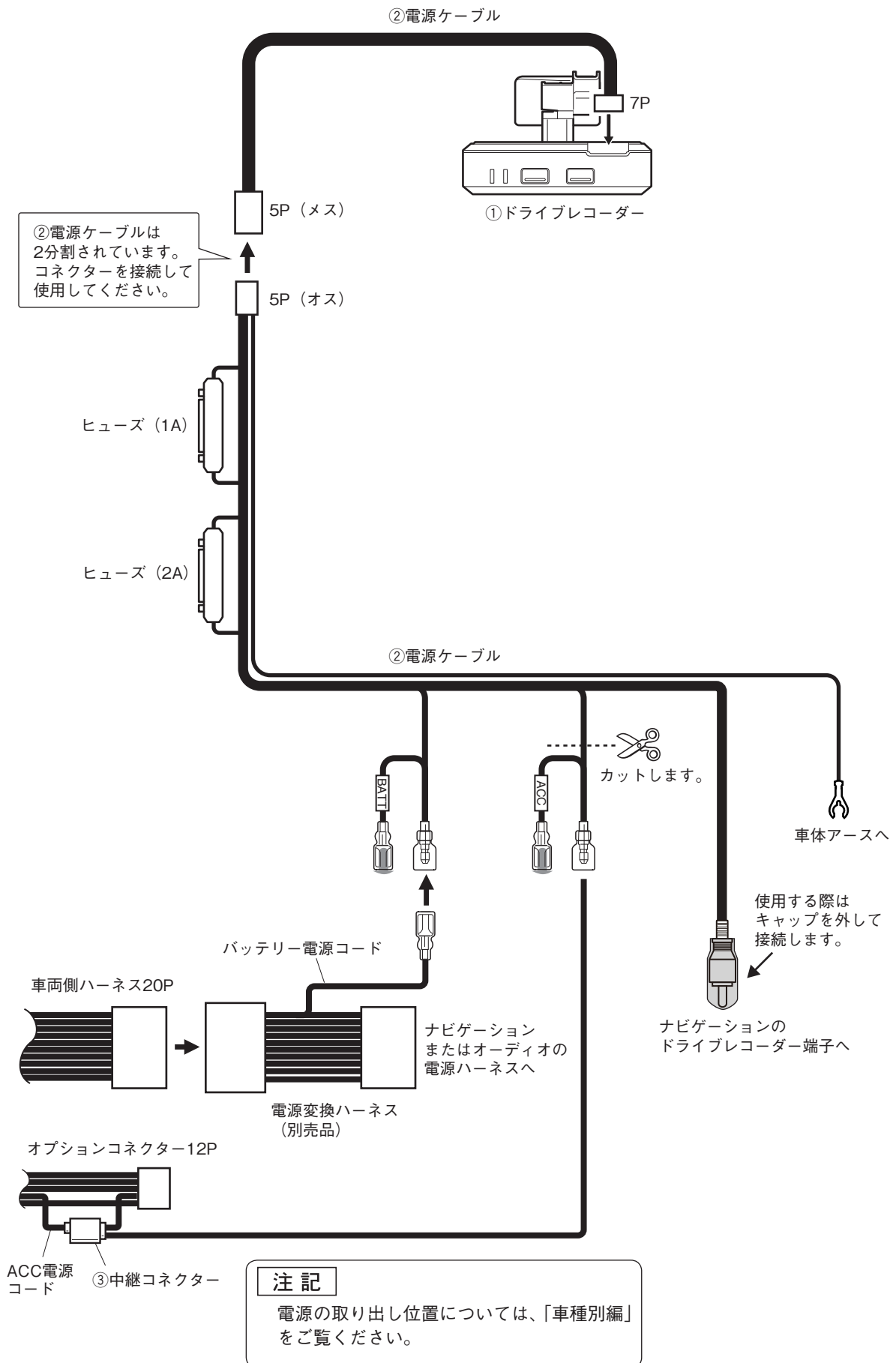
■ DOPナビ、オーディオと共着する場合で、電源ハーネスに ACC、BATT のギボシ端子がある場合



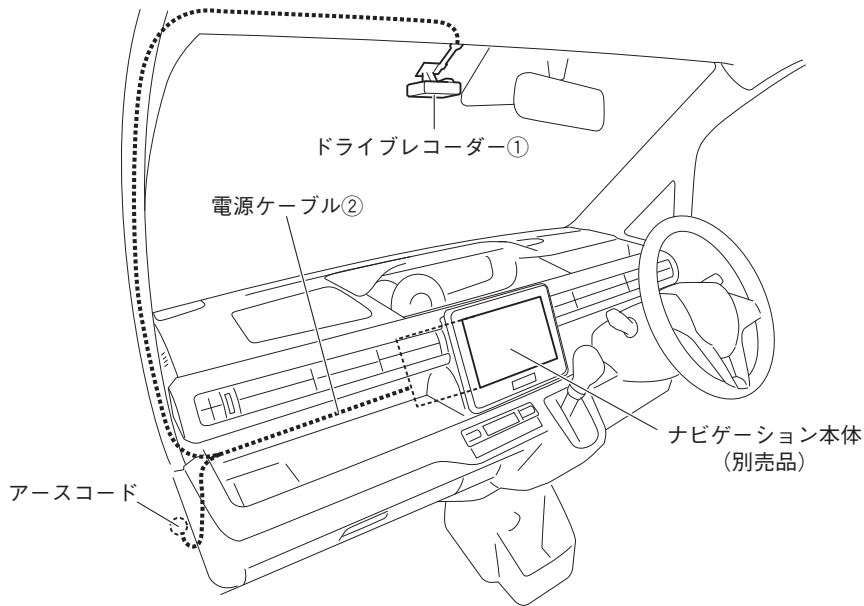
■ MOPナビと共着する場合、または、DOPナビ、オーディオと共着する場合で、電源ハーネスに ACC、BATT のギボシ端子がない場合



■ランディに取り付ける場合



取付概要図



取付要領

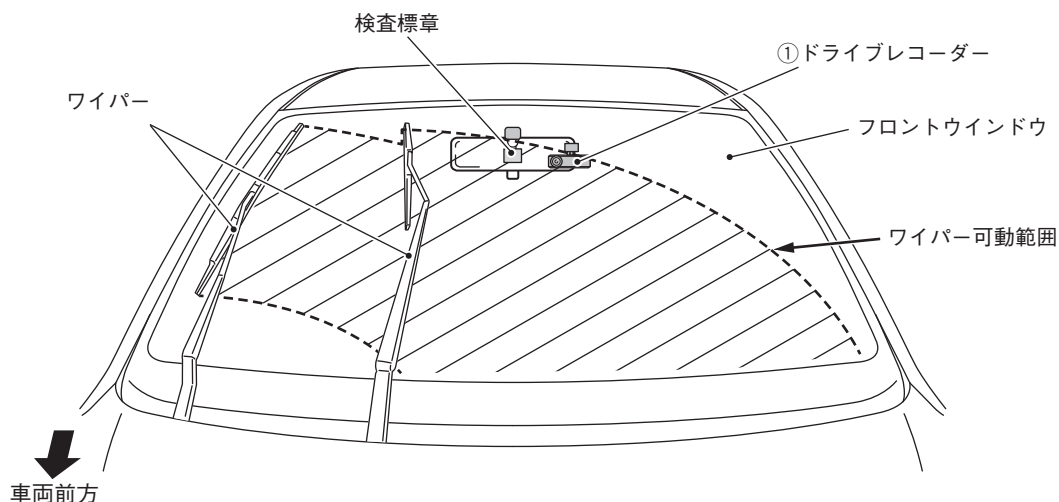
■ ドライブレコーダー取り付け上の注意

⚠ 注意

- ETC アンテナなど、他用品と取付位置が重なる場合は、ドライブレコーダーの取付位置を優先してください。
- ・ 湿気が多い時は、室外での取り付けはしないでください。
粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。
- ・ 貼り付け面の汚れ（油分、水滴）をきれいに拭き取ってください。特に水滴は両面テープの性能を劣化させますので注意してください。
粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。
- ・ 気温が低い（15℃以下）と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、フロントウインドウ面とドライブレコーダーの両面テープ部を暖めてから貼り付けてください。
ドライブレコーダー本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。
- ・ 取り付け後、引っ張る等、無理な力を加えないで自然放置してください。
- ・ 確実に装着させるため ⑫ クリーナーでフロントウインドウをきれいに拭いてください。
- ・ 取り付け後フロントウインドウを拭く場合は両面テープに水分やガラスクリーナー等のスプレーがかからないようにしてください。粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。

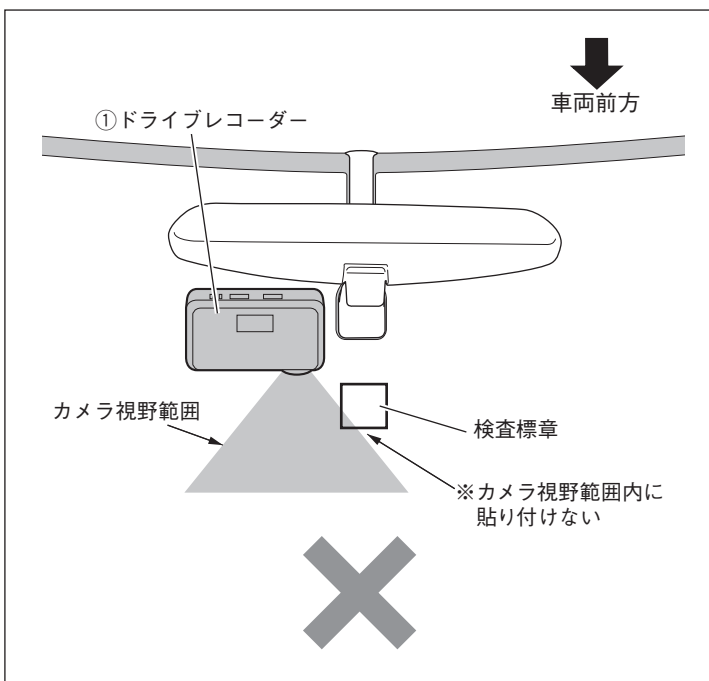
■ ドライブレコーダー取り付け位置について

外側からフロントウインドウを見た図



▲ 注意

- ・フロントウインドウへの取り付けに関し、道路運送車両の保安基準第 29 条 4 項を満足することを確認しています。ただし、誤った位置に①ドライブレコーダーを貼り付けると保安基準に抵触する恐れがありますので、車種別の取付要領書で示す①ドライブレコーダーの貼り付け寸法を遵守してください。
(詳細は、道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第 195 条第 5 項第二号または自動車検査法人審査事務規定第 5 章 5-47 による、道路及び交通状況に係る情報の入手のためのカメラに指定されている要件を参照してください。)
- ・①ドライブレコーダーがワイパーの可動範囲内に貼り付けられていることを確認してください。ワイパーの可動範囲外に①ドライブレコーダーを貼り付けると、雨天の際に鮮明な映像を撮影できない可能性があります。その他の場所への取り付けは、行わないでください。

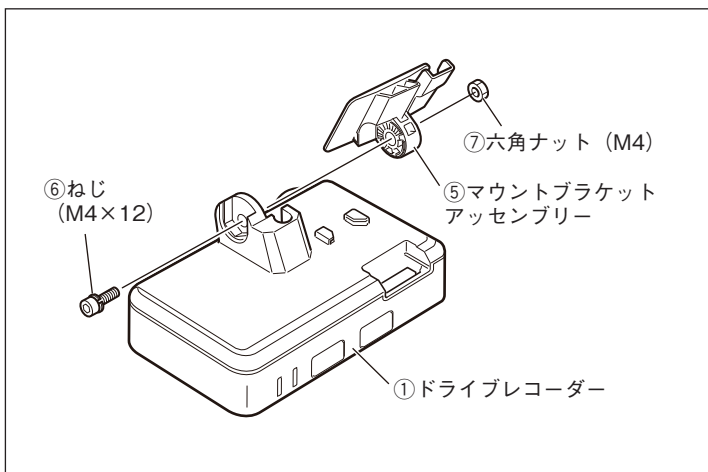


▲ 注意

検査標章を貼り付ける際は、カメラ視野範囲外に貼り付けてください。カメラ視野範囲内に検査標章を貼り付けると記録される映像に検査標章が映り込みます。

■ ドライブレコーダーの取り付け

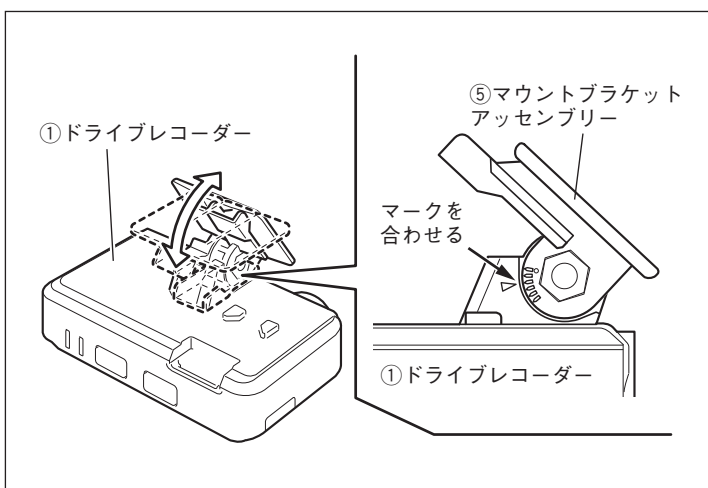
<マウントブラケットアセンブリーの取り付け>



1. ⑤マウントブラケットアセンブリーを①ドライブレコーダーに⑥ねじ (M4×12) で仮留めします。

▲注意

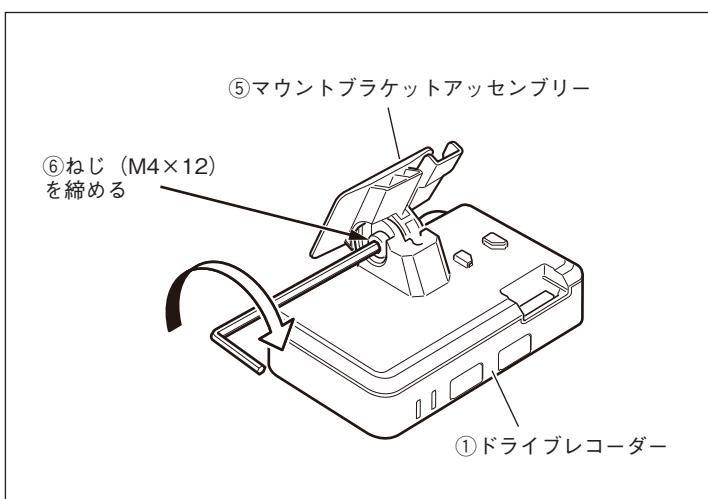
⑥ねじの向き、⑤マウントブラケットアセンブリーの向きを間違えないように注意してください。



2. ⑤マウントブラケットアセンブリーのマークと①ドライブレコーダーのマークを車種別の取付説明書に記載されている位置に合わせます。

▲注意

車種により合わせ位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。



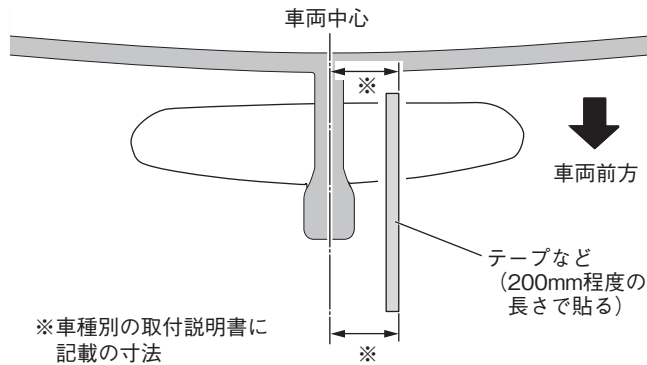
3. 仮留めした⑥ねじ (M4×12) を締めて⑤マウントブラケットアセンブリーを固定します。

▲注意

マークの合わせ位置がずれていないことを確認しながら固定してください。

<ドライブレコーダー取付位置のマーキング>

車室外側からフロントウインドウを見た図

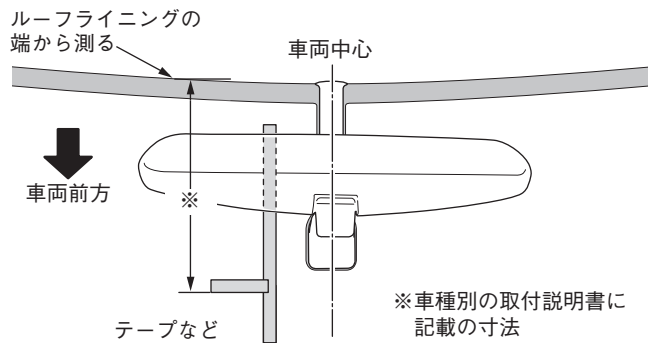


1. 車種別の取付説明書に記載されている位置の横方向の基準線をテープ等でマーキングします。

▲注意

- ・ 車種によりマーキング位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・ 車種別の取付説明書で示す①ドライブレコーダーの貼付寸法を遵守してください。誤った位置に①ドライブレコーダーを貼り付けると保安基準に抵触する恐れがあります。
- ・ テープ等の外側が基準線になるようにマーキングしてください。
- ・ 上下の2箇所寸法を測り、基準線が垂直になるようにマーキングしてください。

車室内側からフロントウインドウを見た図

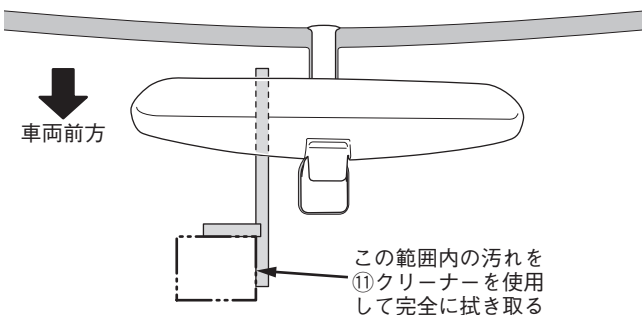


2. 車種別の取付説明書に記載されている位置の縦方向の基準線をテープ等でマーキングします。

▲注意

- ・ 車種によりマーキング位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・ 車種別の取付説明書で示す①ドライブレコーダーの貼付寸法を遵守してください。誤った位置に①ドライブレコーダーを貼り付けると保安基準に抵触する恐れがあります。
- ・ テープ等の下側が基準線になるようにマーキングしてください。

車室内側からフロントウインドウを見た図

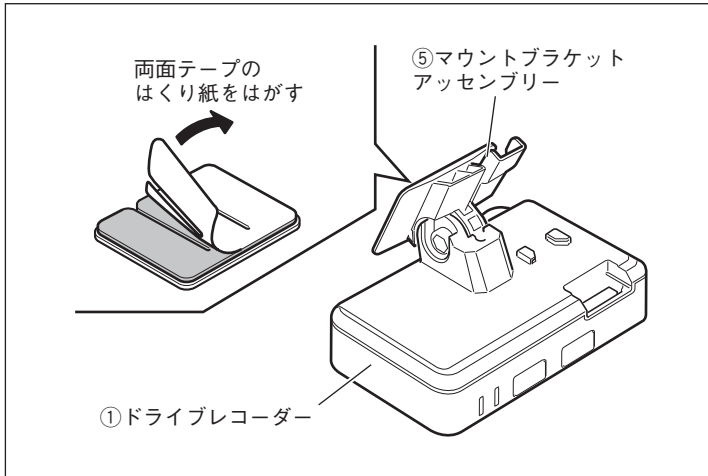


3. ①ドライブレコーダーを貼り付ける位置のフロントウインドウ（車室内側）の汚れ（ゴミ、油）や、曇り止め等を②クリーナーで完全に拭き取ります。
4. フロントウインドウに付いた②クリーナーの成分をきれいなウエスで完全に拭き取ります。

▲注意

- ・ フロントウインドウが乾かないうちは、①ドライブレコーダーの貼り付け作業を行なわないでください。
フロントウインドウに貼り付かなくなります。
- ・ 拭き取り後は貼り付け位置には触れないでください。

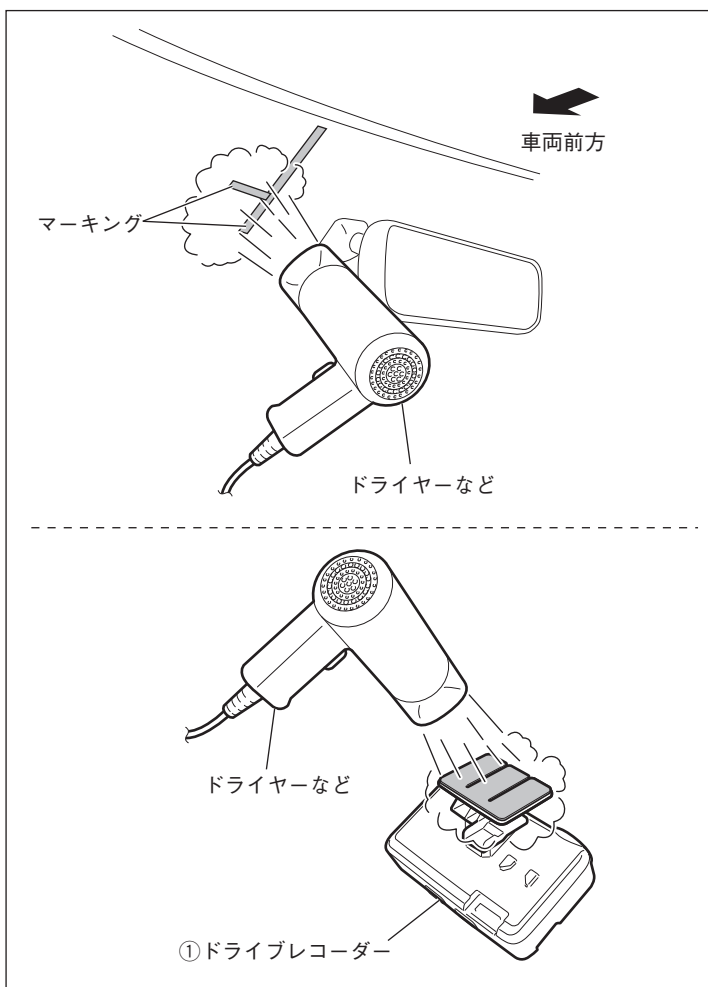
<ドライブレコーダーの取り付け>



- ⑤マウントブラケットアッセンブリーの両面テープからはくり紙をはがします。

▲注意

粘着力が弱まり、①ドライブレコーダーが落下する恐れがありますので、両面テープの粘着面に手を触れないでください。

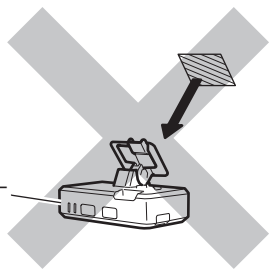


▲注意

- ・作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- ・温度が低い場合は、ドライヤーなどでフロントウインドウ面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を暖めてから貼り付け作業を行ってください。
- ・温度について
貼付作業時の環境温度は、15℃以上が推奨です。気温が低い時期（気温15℃未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、フロントウインドウ面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- ・湿気について
貼付部のウインドウ表面を乾燥させてください。室温に比べてウインドウ表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。
- ・①ドライブレコーダーを暖めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを暖める際は、数秒だけドライヤーなどで暖めてください。

車両前方

①ドライブレコーダー

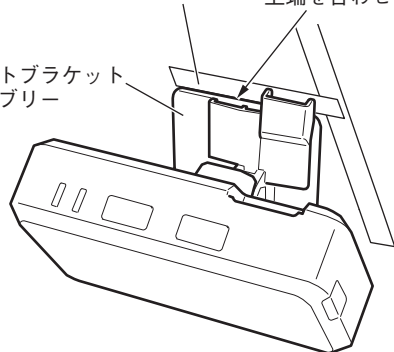


注意

- ・粘着力が弱まり、落下する恐れがありますので、①ドライブレコーダーを貼り直したりしないでください。
- ・貼り付け後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず10分以上放置後に行ってください。
十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。

⑤マウントブラケット
アッセンブリー

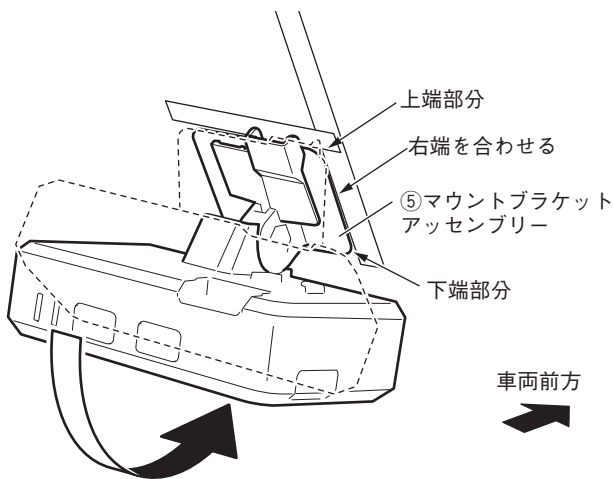
マーキング位置 上端を合わせる



車両前方

2. マーキング位置に⑤マウントブラケットアッセンブリーの上端を合わせます。

上端部分
右端を合わせる
⑤マウントブラケット
アッセンブリー
下端部分



車両前方

3. ⑤マウントブラケットアッセンブリーを貼り付け面の先端から下端へ右端をマーキング位置に合わせながら、貼り付けます。

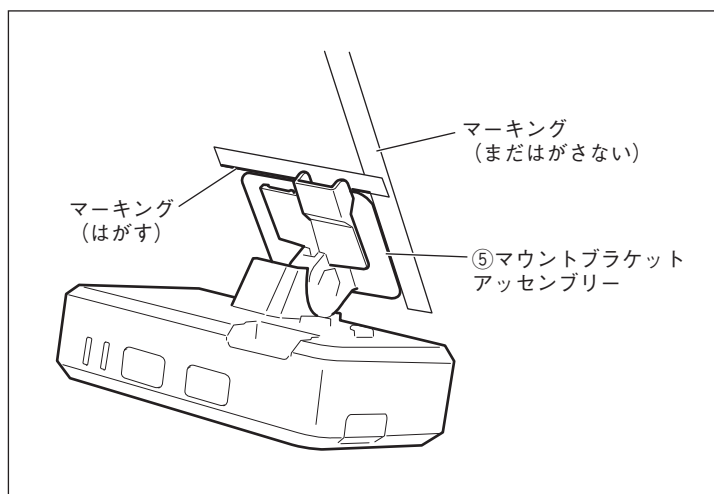
注意

気泡が入らないように貼り付けてください。

4. 横方向のマーキングをはがします。

▲注意

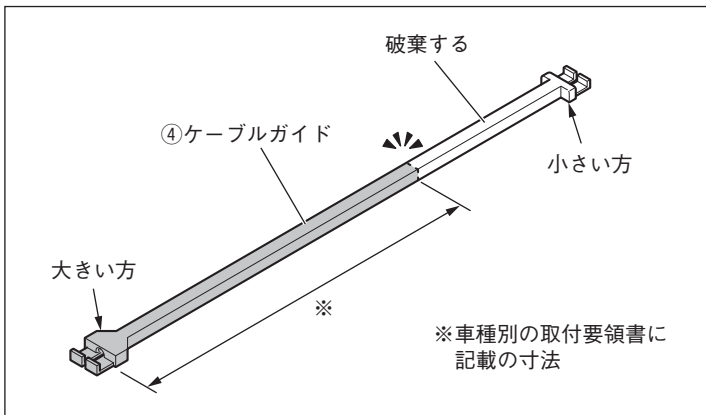
運転席側に①ドライブレコーダーを貼り付ける場合は、⑤マウントブラケットアッセンブリーの左端を合わせてください。



<電源ケーブルの取り付け>

▲注意

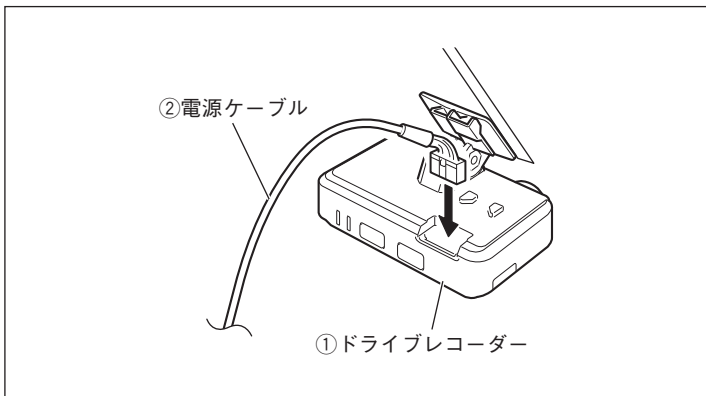
取付要領は、助手席側に配線する場合で説明していますが、運転席側の場合も同様の作業を行ってください。



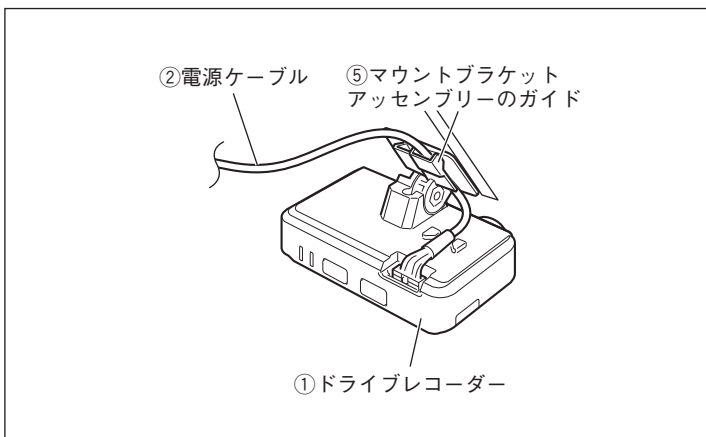
- ④ケーブルガイドを車種別の取付説明書に記載の寸法でカットします。

▲注意

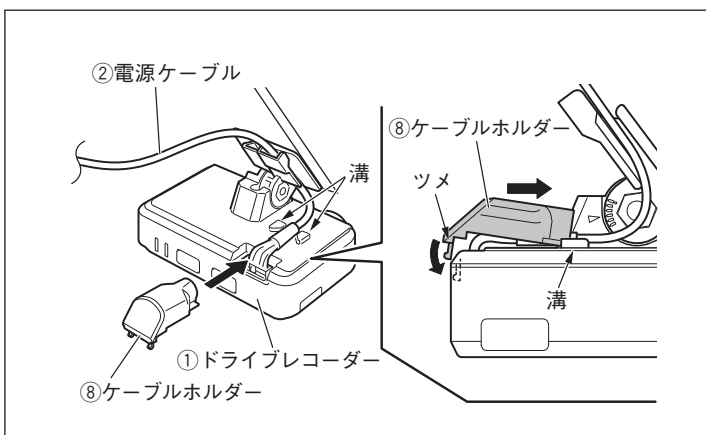
車種によりカットする位置と使用する側が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。



- ②電源ケーブルを①ドライブレコーダーに接続します。



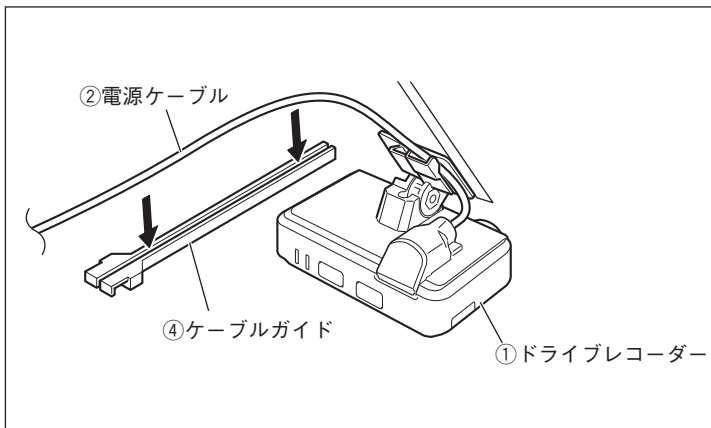
- ②電源ケーブルを⑤マウントブラケットアッセンブリーのガイドに通します。



- ⑧ケーブルホルダーを①ドライブレコーダー上面の溝に差し込みます。
- ⑧ケーブルホルダーのツメを①ドライブレコーダーのコネクター部に差し込んで、⑧ケーブルホルダーを取り付けます。

▲注意

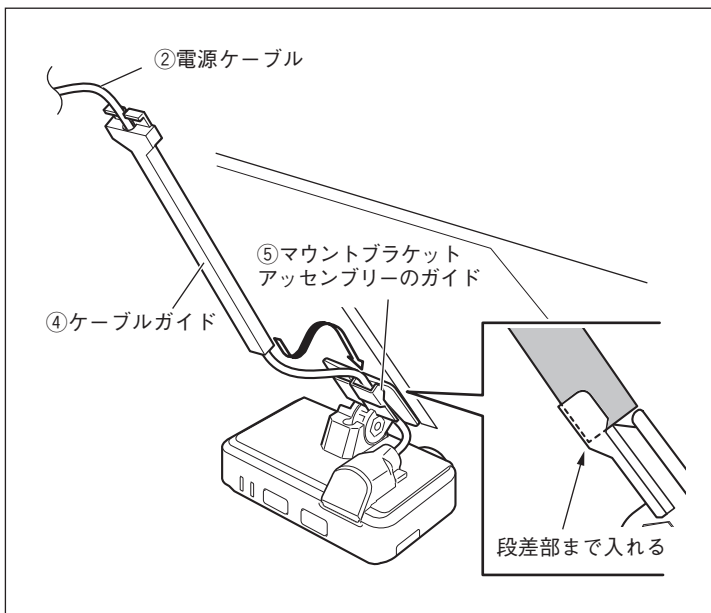
⑧ケーブルホルダーのツメが①ドライブレコーダーのコネクター部にしっかりかかっていることを確認してください。



6. ②電源ケーブルを④ケーブルガイドの溝に押し込みます。

▲注意

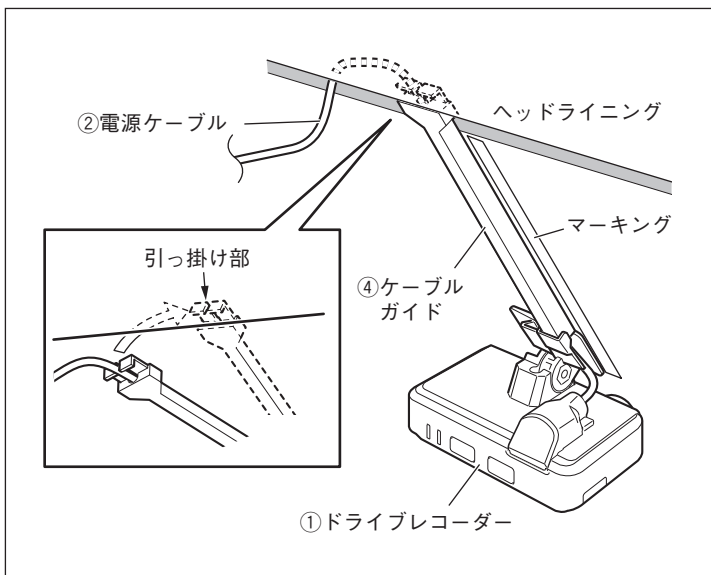
- ④ケーブルガイドはカットした面を①ドライブレコーダー側にしてください。



7. ④ケーブルガイドを⑤マウントブラケットアセンブリのガイドに差し込みます。

▲注意

- ②電源ケーブルがたるまないように、②電源ケーブルを上方に引きながら④ケーブルガイドを差し込んでください。
- ④ケーブルガイドは⑤マウントブラケットアセンブリのガイドの段差部に突き当たるまで差し込んでください。

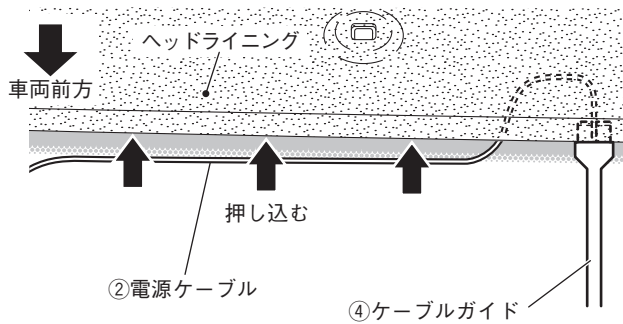


8. ④ケーブルガイドの引っ掛け部をヘッドライニング内に入れます。

9. ④ケーブルガイドをマーキングを目安にヘッドライニングに対して垂直にします。

<ヘッドライニング部、フロントピラー部の配線>

助手席からフロントウインドウを見た図



▲注意

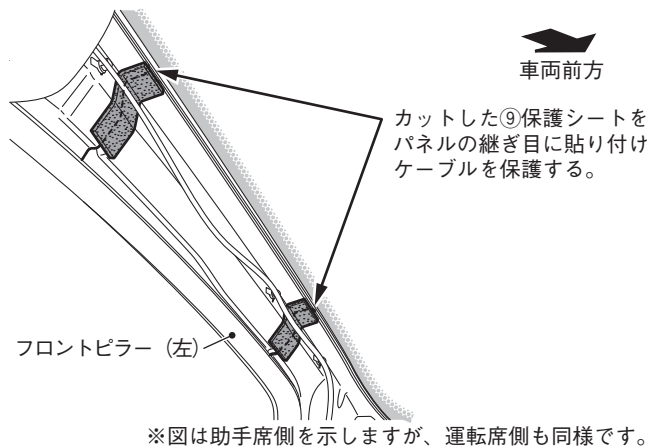
マーキングを目安にして④ケーブルガイドがヘッドライニングに対して垂直になっていることを確認してください。

- ②電源ケーブルをヘッドライニング内に押し込みます。

▲注意

- ・車種により引き回し方向が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・②電源ケーブルをヘッドライニング内に押し込む際、ヘッドライニングに折り目（割れ等）が入らないように注意して作業を行ってください。

フロントピラー部

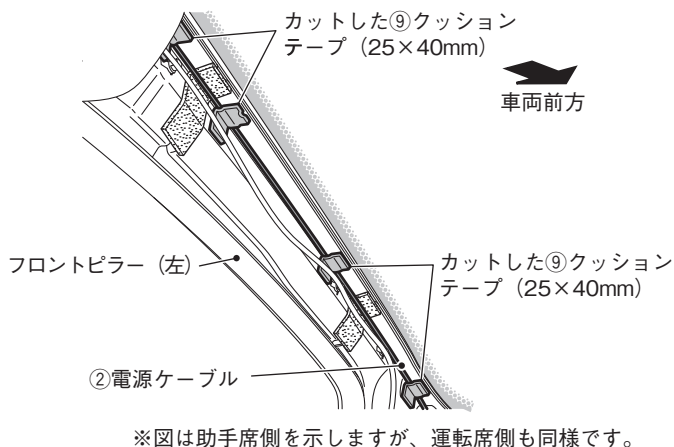


- フロントピラー部にパネルの継ぎ目がある場合は、②電源ケーブルを保護する為に、⑩保護シートを車両側に貼り付けます。

▲注意

車種により異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。

フロントピラー部

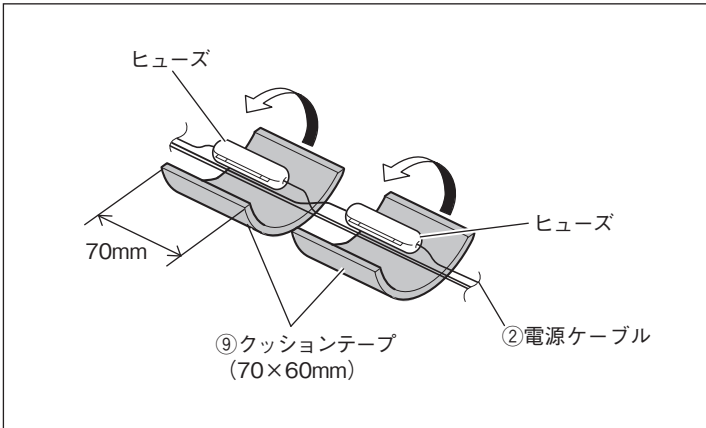


- ②電源ケーブルを配線し、⑨クッションテープをカットして固定します。

▲注意

- ・車種により固定する枚数が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・車両ハーネスに沿わせ、フロントピラートリム裏側のリブおよび固定クリップ等に干渉しないように配線してください。

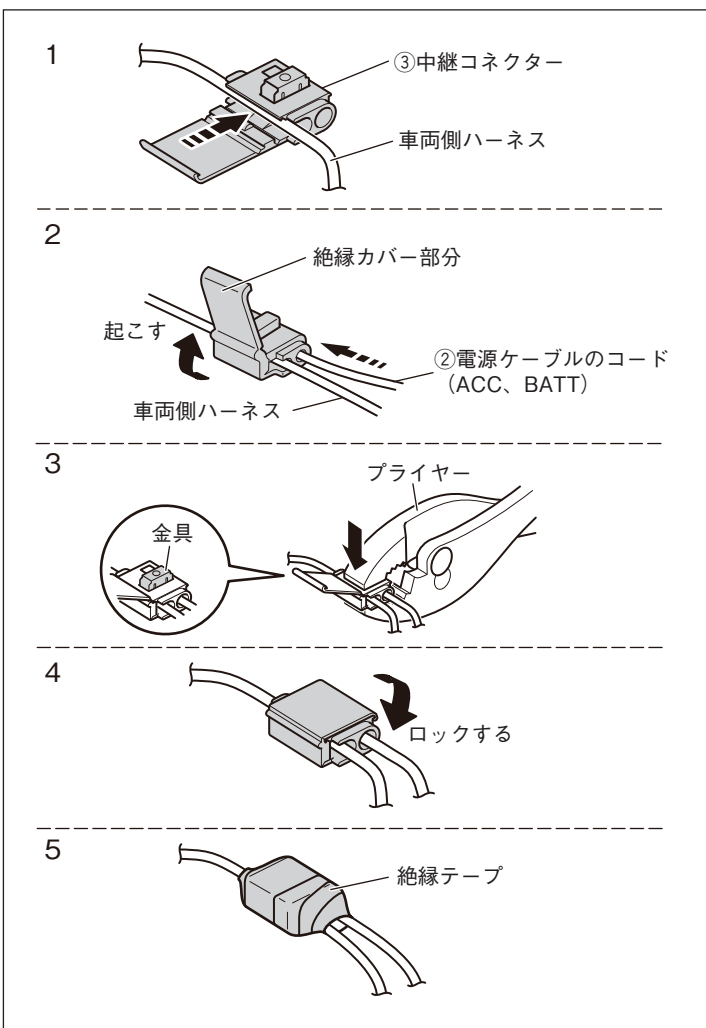
■ 配線を行う際の注意



▲ 注意

異音防止のため ② 電源ケーブルのヒューズ 2 箇所にかットした ⑨ クッションテープを巻き付けてください。

■ 中継コネクタの使用法



1. 車両側ハーネスの指定のコードを③中継コネクタに通します。

2. 絶縁カバーを起こします。
②電源ケーブルの指定のコードを③中継コネクタに突き当たるまで差し込みます。

3. プライヤーで金具を押し込みます。

4. 絶縁カバーを閉じてロックします。

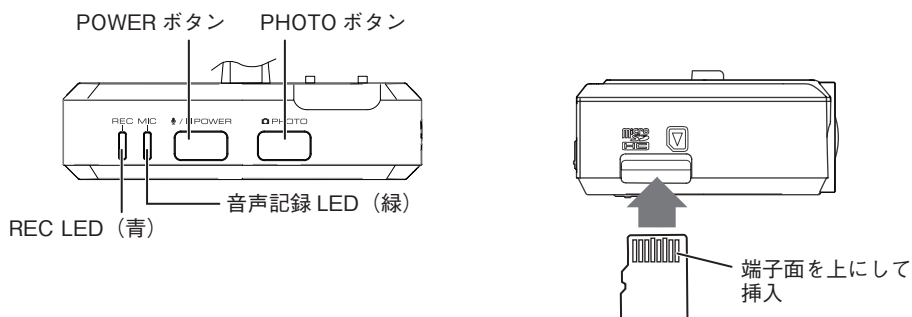
5. ③中継コネクタを絶縁テープなどで巻きます。

動作確認

■ ドライブレコーダー本体の基本操作

< microSD カードの抜き差し >

本機の電源をオフにしてから、動作確認用の microSD カードを挿入口に端子面を上にして、カチッと音がするまで挿入します。microSD カードの向きに注意してください。



取り出しときは、本機の電源をオフにしてから、microSD カードを押して、microSD カードが少し飛び出たら引き抜きます。

⚠ 注意

- ・ microSD カードを取り出すときは、本機の電源がオフ (REC LED が消灯) になっていることを確認してください。
- ・ microSD カードへアクセス中 (REC LED が点灯) は microSD カードを取り出さないでください。

< LED/ 報知音による状態通知 >

条件	報知音	LED	
		REC (青色)	MIC (緑色)
常時録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
常時録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
手動録画開始	ピコン (↑)	点灯	—
イベント (衝撃) 記録開始	ピロリン (↑)	点灯	—
静止画記録	カシャ	—	—
メニューカーソル送り	プッ	—	—
メニュー項目決定	ピポン (↑)	—	—
メニュー項目戻り / 解除	ピポン (↓)	—	—
駐車録画開始	ピロリン (↑)	点灯	—
駐車録画停止	ピコン (↓)	消灯	—
ファイル数制限で記録できず	ダダダダ	—	—
自動静止画撮影開始	ピピコン (↑)	—	—
自動静止画撮影停止	ピピコン (↓)	—	—
音声記録 ON	プッ	—	点灯
音声記録 OFF	プッ	—	点灯
ACC ON 時・駐車録画検出	駐車録画モード中に録画された場合、「駐車記録があります」と音声で通知します。		

■ パソコンを使用した動作確認

<パソコンの準備>

1. 動作確認用microSDカード、SDカードアダプター、カードリーダー、パソコン（下記スペックを参照）を準備する。
2. 動作確認用microSDカードをSDカードアダプターおよびカードリーダーを使用してパソコンに認識させる。

●パソコンの必要スペック

OS	Windows 7 Service Pack 1 日本語版 (32Bit/64Bit) Windows 8.1/8.1Pro 日本語版 (32Bit/64Bit) Windows 10 日本語版 (32Bit/64Bit)
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

- ・ Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Google Earthは、Google Incの登録商標または商標です。
- ・ Intel Coreは、Intel Corp.の登録商標または商標です。

<メモリーカードをフォーマットする>

1. SDメモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。
SDメモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。
 - (1) Internet Explorerなどのウェブブラウザを起動し、専用サイト<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/suzuki/dvr> にアクセスします。
 - (2) 「SDメモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
 - (3) 記述されている手順に従って、SDメモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。
2. SDメモリーカードフォーマットソフトウェアを起動する。
[スタート] → [すべてのプログラム] → [SDFormatter] → [SDFormatter] を選択します。
3. [フォーマット] ボタンをクリックする。
選択されたドライブがメモリーカードを挿入したドライブになっていることを必ず確認してからフォーマットしてください。
異なるドライブが選択されている場合は、[更新] ボタンをクリックし、メモリーカードを挿入したドライブを選択してください。
4. フォーマットが終わると、確認ダイアログが表示されるので、[OK] ボタンをクリックする。
5. [終了] ボタンをクリックする。

<録画する>

1. フォーマットされたmicro SDカードをドライブレコーダー本体へ挿入する。
2. エンジンスイッチをONにしてドライブレコーダー本体の電源がオンになると、常時録画を開始します。
ドライブレコーダー本体のREC LED（青色）が点灯していることを確認してください。
3. エンジンスイッチをOFFにして、ドライブレコーダーからmicro SDカードを取り出す。

<ビューアソフトをインストールする>

1. 専用サイト <http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/suzuki/dvr> にアクセスする。
2. インストーラー「Setup_E0-XX.msi」をダウンロードして、パソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーする。
「Setup_E0-XX.msi」の「XX」は、バージョンを表します。
3. コピーした「Setup_E0-XX.msi」をダブルクリックする。



4. セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進める。




5. 「完了」をクリックする。
インストールが完了します。

<パソコンによる確認>

1. ドライブレコーダー本体から抜いた動作確認用microSDカードをカードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入する。
2. 「スタート」－「すべてのプログラム」－「DRIVE REVIEWER E0」－「DRIVE REVIEWER」をクリックして起動する。「DRIVE REVIEWER」画面が表示されます。

アドバイス

DRIVE REVIEWER を使用するときには他のアプリケーションを閉じてください。同時に立ち上げていると動作が遅くなることがあります。

3. 下記画面の②メニュー「」（ドライブ一覧）」を開き、ドライブを選択する。



No.	名称	説明
①	拡大表示機能	再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。
②	メニュー	フォルダ選択、kmz/kml にエクスポート、バックアップ、終了、ドライブ選択、設定、ヘルプ
③	映像再生画面	映像を再生または表示する画面です。
④	トラックバー／再生時間	動画情報の再生位置を示します。再生位置に応じて、地図およびグラフの再生位置を更新します。
⑤	再生操作ボタン	再生操作が可能です。(ファイル送り、ファイル戻し、再生停止、再生、一時停止、再生中の動画を静止画保存、再生速度の調整、音量調整)
⑥	グラフ	再生中の動画ファイルに対応した加速度の大きさと速度の折れ線グラフを表示します。
⑦	再生中の動画ファイルのパス	再生中の動画ファイルの格納場所を表示します。
⑧	スピードメーター	再生中の動画ファイルの車両速度を表示します。
⑨	種類別一覧	見たいファイルをクリックすると③映像再生画面に録画または記録された映像が表示され、再生を開始します。
⑩	地図表示ボタン	[マップ▲] をクリックすると地図が表示されます。⑨の見たいファイルをクリックすると、選択した動画ファイルの位置情報が地図上に表示されます。

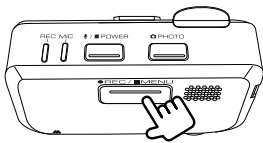
No.	実施項目	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
①	映像の確認	映像に黒セラドットやミラーベースなどが極端に映り込んでいないこと。	取付説明書通りに取り付けが出来ているか再度確認してください。	<input type="checkbox"/>
②	音声の確認	音声の記録が出来ていること	音声記録LEDが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、POWERボタンを押下して音声記録をオンに切り替えて再度確認してください。	<input type="checkbox"/>

<ドライブレコーダー本体での動作確認>

1. モニター（ナビゲーションなど）に、ドライブレコーダーの映像を表示します。

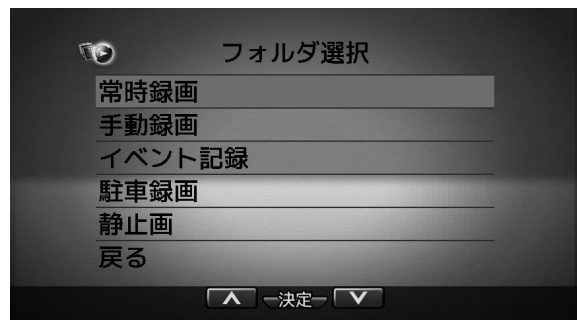
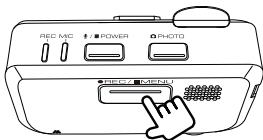


2. 「REC/MENU」ボタンを3秒以上押し続けます。



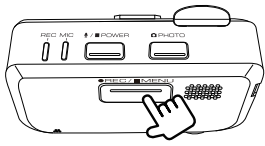
[MENU]画面が表示されます。

3. [MENU]が表示されたら「REC/MENU」ボタンを押します。



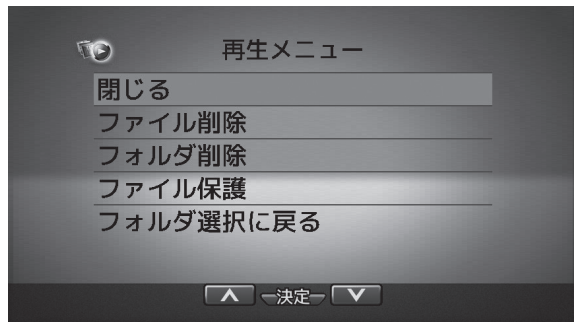
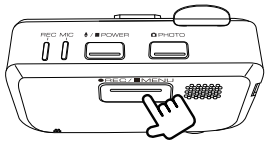
[フォルダ選択]画面が表示されます。

4. [フォルダ選択]画面が表示されたら「REC/MENU」ボタンを押します。



再生画面に切り替わり、再生が開始されます。
録画された映像が再生できることを確認してください。

5. 確認が終わったら「REC/MENU」ボタンを1秒押し続けます。



再生メニューが表示されます。

5.再生メニューが表示されたら「REC/MENU」ボタンを3秒以上押し続けます。
ドライブレコーダーの映像に戻ります。



No.	実施項目	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
①	映像の確認	映像に黒セラドットやミラーベースなどが極端に映り込んでいないこと。	取付説明書通りに取り付けが出来ているか再度確認してください。	<input type="checkbox"/>
②	音声の確認	音声の記録が出来ていること	音声記録 LED が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、POWER ボタンを押下して音声記録をオンに切り替えて再度確認してください。	<input type="checkbox"/>